社会福祉法人慶徳会広報誌

華

編　集　慶徳会広報編集室
〒567-0035　茨木市見付山1丁目3-29
電　話　072-665-5165
F A X　072-665-5166

第25号
平成22年8月発行

小規模多機能センター「なでしこ」開設

8月1日、小規模多機能センター「なでしこ」が慶徳会としては「ききょう」に次いで二つ目の小規模多機能型事業所として、また、茨木市内では五ヵ所目となる事業所として開所しました。

開所に先立つ7月29日に竣工式を行い、茨木市市民生活部長の大西様をはじめ行政関係の方々や、関係機関の方々、そして日頃からお世話になっている地域の皆様方が多数ご出席下さり、式典に続くセンターの内覧会にも熱心にご視察いただきました。

趣味活動のひととき

ソファでのんびり
くつろぎの時間

小規模多機能センターなでしこ Tel：072−665−5455

この施設は、「通い」「泊り」「訪問」の介護サービスをその方の必要性やご希望に応じ、一体的に提供させていただくものですが、「住み慣れた地域での「なじみの場所・人」のサービスを通じて、ご利用者の皆様に「安心感」をもっていただきながら「ご自分らしい暮らし」をいつまでも続けていただけることを目的に設置した施設です。

「安心」や「笑顔」に包まれ、ご利用者が「喜び」「楽しみ」を感じ味わいながら毎日をお過ごしいただけることを大切にして職員一同努力して参ります。お気軽にご相談いただきますようお待ち申し上げております。

ふじだな

撫子（なでしこ）や堤ともなく草の原　虚子

なでしこは秋の七草の一つで、古くから日本の風土の中で親しまれてきました。愛児をなで慈しむような気持をおこさせる可憐な花であります。「古今集」では花が夏から秋まで咲き続けるので、常夏と呼ばれています。その後、中国から観賞用の石竹が伝わり、「枕草子」には唐撫子（からなでしこ）の名が使われています。これに対して日本在来種を大和撫子（やまとなでしこ）と呼ぶようになったと言われています。さらに江戸時代後期にオランダからも新品種が伝わり、天保時代には品評会が開かれ、三百鉢の出品があったと記録されています。この花は厳しい暑さに耐えて強く清楚に咲く姿から大和撫子という日本女性の表現にも使われました。

八月一日、小規模多機能センター「なでしこ」を開設致しました。この呼び名には前述の由来をふまえて、愛され、励まされることにつながれば幸いとの期待をこめています。地域の皆様のご協力を得ながら、咲き続けてほしいものであります。

子供の家 学童キャンプ 2010

子供の家では、7月25日～27日の日程で、淡路島の国立『淡路青少年交流の家』へキャンプに行って来ました。

1日目は、真夏の照りつける太陽の中、海で元気よく泳ぎ、夜は星空を見上げて宇宙や星座についてのお話を聞きました。2日目も朝から元気よく海水浴をし、午後からは『貼り絵タイル』を作成し、夜ごはんは班ごとに力を合わせて飯盒炊さんをしました。自分たちで作ったご飯を、美味しそうに食べている姿が印象的でした。

3日目は、海と山に囲まれた施設内を、宝の地図を頼りに探検をしました。最後には浜辺で全員が宝物を掘り当てることとなり、一致団結をしてめでたく宝物を手に入れることが出来ました。とても暑い3日間でしたが、夏休みの楽しい思い出が出来ました。

まだまだ夏休みの行事が続きますが、体調管理に気をつけ、これからもたくさんの夏の思い出を作って欲しいと思います。

水の中で、はい！チーズ

気持い～い！みんなで元気に泳いだよ♪

焼きそば作りを頑張ってます

編集後記

猛暑の中、いかがお過ごしでしょうか。今年の暑さは格別で、ニュースでも熱中症の話をよく耳にします。熱中症は体内の水分と塩分のバランスが崩れ、汗をかかなくなり体温が上昇し場合によっては死に至るものです。急激に暑くなった日やたくさん汗をかいた時は特に注意が必要です。対処法は、こまめに水分を補給しスポーツドリンクなどで体内の塩分のバランスを整えることです。また、熱中症は体が暑さに慣れていない時に多く発生する傾向があります。屋外で運動される時は、急に激しい運動をするのではなく、短時間で軽めの運動から始め、数日間かけて徐々に慣らしていくとよいそうです。まだ残暑の出口は見えませんが、この夏に一つでも多く楽しい思い出ができればと願っています。

慶徳会「納涼大会」開催のお知らせ

日時　平成22年8月24日（火）
18：00～20：00

場所　慶徳会グラウンド（「子供の家」西隣）
茨木市北春日丘1−3−38

内容　盆踊りと各種模擬店
（焼そば・カキ氷・飲み物・ゲーム他）

入場無料 お気軽にご来場ください

●17:00～慶昌堂で地蔵盆会を行います。

※駐車場がございませんので公共交通機関をご利用ください。

社会福祉法人慶徳会のホームページ　http://www.keitokukai.or.jp/

本山（西本願寺）参拝

法人内の高齢者施設では、平成22年6月8日（火）、京都西本願寺（本山）へバスで参拝しました。

一行は、ご利用者20名、ご家族・ボランティアの方3名、職員13名の総勢36名で、皆さん楽しみにされていた行事です。

天候は雨の予報でしたが皆さんの想いと、どなたかの晴れ女・晴れ男のお陰で、少々の雨に見舞われただけで、過ごしやすい一日となりました。

本山では、阿弥陀堂、御影堂（写真）、白書院、飛雲閣等、ほとんどの場所を参拝・拝観することができました。国宝や国の重要文化財も多く、一同とても感動しました。

参拝後は、嵐山まで足を延ばし、昼食には名物の豆腐料理を味わいました。豆腐だけでなく、天ぷらも添えられる等、たくさんの料理を楽しめ、舌鼓を打っておられる皆さんが印象的でした。昼食の後は、時雨殿を訪れ、小倉百人一首をデジタル機器を使って楽しみました。戸惑う方もおられましたが、歴史を楽しみながら学べた貴重なひと時でした。

この参拝を通じて、日頃施設ではなかなか聞けない会話や格別な笑顔が見られた、とても充実した一日となりました。

毎年、参拝にご協力いただいているボランティアの方やご家族がご一緒してくださる中、ご利用者もとても楽しみにされ、中には、そのために熱心に服装選びをされる方もおいでです。そのような気持ちを大切にしながら、各施設からご利用者が同じに会し、ご家族・ボランティアの皆さん、そして職員もご一緒する貴重な機会を大切にして、これからも計画をしていきたいという思いを強くしました。

参拝後爽やかな気持で勢ぞろいの皆さん

花見花祭り

音楽法要で合唱する子どもたち

4月17日（土）、常観堂で恒例の花見・花祭りを行いました。

「花祭り」はお釈迦様の誕生をお祝いして花御堂に安置された誕生仏の像に甘茶を注ぐ法会のことです。

当日は好天に恵まれ満開の八重桜に囲まれ、ちらし寿司やウインナー等の食事を楽しみながら、法人各施設の大勢のご老人や子どもたちが笑顔も満開のひとときを過ごしました。

花より団子？常観堂庭園での食事は格別です

いつもありがとうございます

ボランティア紹介

ヒロシ美容室 松本さんご夫妻

ヒロシ美容室さんがご夫妻で光華苑に「理美容奉仕」に初めて来てくださったのは、昭和48年のことでした。それから実に37年間もの長きにわたって、毎月散髪奉仕をしてくださっています。

ご夫妻はいつも大きなワンちゃんを車に乗せて光華苑に来られ、確かな技術でアッという間にご利用者の希望どおりの髪型にしてくださいます。散髪を終えた皆さんはどなたもご満悦で居室に戻られます。

ヒロシ美容室の店主松本洋さんにお話を伺いますと、「私たちこそがご利用者のみなさんから元気をたくさんもらって感謝しています。」と優しい笑顔で謙虚に話してくださいました。

みんな毎月の「散髪の日」を心待ちにしています

◎平成22年4月施設長人事異動

●中根　超信　前光華苑・春菊苑施設長（退職）

平成13年4月から春菊荘施設長として1年間の勤務を経て、平成14年6月光華苑・春菊苑の施設長に就任、その後8年間に亘りサービスの質の向上や地域福祉の推進等にご尽力いただきました。平成22年4月からは慶徳会の法要を担当。なお、評議員として引き続きつとめていただいています。

後任には村社憲三前真華苑施設長が就任し、真華苑の後任施設長には浅田武子同苑前副施設長が就任。

●楠瀬　八重子　前しみず施設長（退職）

昭和49年に採用され、子供の家保母、真華苑寮母、常清の里介護職員を勤めた後、平成16年4月にしみずの施設長に就任。現場で培った経験を存分に活かしながら、6年間に亘って施設運営に手腕を発揮されました。平成22年3月からは慶徳会の評議員に就任していただいています。

後任には元田淑夫現常清の里施設長が兼務で就任。

大阪府社会福祉協議会 老人施設部会長

◎永年勤続感謝状 授与者（8年以上勤務者）

光華苑	浅野　博章	常清の里	吉見ますみ
	林　松子	静華苑	山田健一郎
西河原	舩本　里治		高倉百合子
	阪本　浩正		阿部健二郎
	野間智津子		尾上　悦子
	福島　正一		中谷　加代
	谷口カネ子		井戸木直弘